

## 「母娘（おやこ）の素敵な会話に接して」へのコメント

HP 記事「母娘（おやこ）の素敵な会話に接して」の掲載の折、「みなさんが考える『“自己実現”とは？』を、お聞かせください。」とお願いしたところ、何人かの方からご意見や記事への感想もいただきました。

参考までにご覧ください。

なお、更にご意見をいただきましたら、随時当ファイルに追加掲載します。

2007. 10. 22. 阿部幸泰

⑧ HP の「母子の素敵な会話」を拝読しながら、自分にとっての自己実現を問われると、きっと以前なら自分自身だけの幸せと感じる事を実現させるためだけの目標に基づいて考えていたと思います。

でも、今は、家族を育て下さる繋がりや輪に活かされているのを実感しているので、届けて頂いた思いを係わり合いを通じて育て思いを広げていく事、その営み出合いを通じて笑顔の輪が広がってほしいと願っています。

○子（注：小6の娘さんの名前）には、私が□男（5才の息子さんの名前）と出会って皆さんに育て頂いて初めて気づけた事を、家族の中で大切にしながら、その思いに自然に気づいて彼女自身が育ていける様な経験や育みあいを積み重ねていけたらと思っています。

それにしても、「お母さんとして尊敬するより、人間として尊敬できる」と言われました。

娘さんといい、お母さんといい、本当に素敵ですね。

拝読していて、とてもさわやかな温かい気持ちになりました。

素敵な係わり合いを紹介して頂いて感謝しています。

⑦自己実現のイメージですが、自分を出せていて自分の存在を自分自身で感じれること、そんなイメージなんです…

自己実現って何だろう、と考えたことがなかったのでこういうイメージしか思い浮かびませんでした(;;)

⑥ホームページ拝見させていただきました。

自己実現について考えてみたのですが、まだ自分の中で整理できないでいるので、もう少しお時間をいただけたらと思います。

⑤記事を拝見し、ある学生からの相談事を思い出しました。

学生は小さい時から、「これをしちゃダメ」、「あれをしちゃダメ」と、「ダメ、ダメ」で育てられ、何をすれば良いことなのか、誰も教えてくれなかったとか。

そのためか、今も人と話すことに萎縮し、適性検査ではいつも「外向性（－）」、「柔軟性（－）」と評価がでるとか。

「どうすれば自分は変われますか。変わることはできますか。」との相談事でした。

やはり、幼い時からの大人、特に親の接し方が、子どもの性格形成に大きく影響し続けるのかなと考えさせられました。

親はついつい「しつけ」に名を借りて、してはいけないことは口に出しがちですが、阿部先生がいうところの「子どもの中に生きる力を育む」ような話しかけ方が少ないのかもしれないですね。

このお母さんのように、わが子というより、子どもを一人の人間として認めて会話することの大切さを改めて気づかされました。

このお母さんは、自然体で日常的に娘さんとこうした会話ができるなんて、素晴らしいことですね。

お母さんが自分を一人の人間と認めてくれていることを感じるからこそ、娘さんも「人間として尊敬できる」という言葉が自然と出るのでしょうかね。

先生からの「自己実現とは」の答えになりませんが、自己実現云々の前に子どもの中の自己を認めて上げ、育て上げるような接し方が大切でないかと思いました。

④母娘の会話の記事に関係してですが、多くの親はつい上から子どもにものをいいがち。

子どもは言葉だけの親からの会話でなく、それぞれの年齢なりに一緒に考えてくれる大人を待っているのだと思います。

娘さんは、「一緒に考えましょう」と言ってくれる母親だからこそ「人間として尊敬する」と言ったのだと思いますし、そこから母親への信頼も生まれるような気がします。

こうした姿勢の母親であれば、子どもも先々何か辛いことがあっても、信頼できる母親に「一緒に考えて！」と相談するでしょうね。

本当に素敵な母娘の会話ですね。

③自己実現のイメージのことですが、私は今まで自己実現なんてあまり深く考えたことがありませんでした。でも、私なりに考えているのは、自分の中に秘めている可能性や、自分の考えを自分なりに見つけながら生きていくことなのかなと思っています。

②HPへの記載ありがとうございます。

親として、妻として、人間として、突っ張って生きていたな～

自信がないから、突っ張るしかなかったのかな～

〇〇に話されて嬉しくて、お陰様でと言う思いを伝えたくてメールをしました。

夕方、〇〇にHPの記事を見せました。

「おかあさん、嬉しかったんだ。本当に嬉しかったんだ。そしたらね、阿部さんが素敵な会話といってくれたの(^^)」

彼女は、満面の笑みを返してくれました。

ところで、感想有り難うございます。

〇〇に、素晴らしいお母さんと言われたよ。

でもさ～、きりっとした優しいお母さんって感じじゃないよね。

こんな格好して家をうろついて、変な事ばかりしているんだけどね(^^)」と言って、ぎゃハッハ、笑ってしまいました。

皆さんからのコメント、本当に力を頂きます。

最近では、駄目なおかあさんだから、親になるために勉強中なんて子ども達に言っていま

すから、皆さんからのコメント（評価？）すっご〜く幸せです。

①自己実現をたすけるというのは、その子らしい生き方（人生の送り方）を見つけ出し、その方向で精一杯生きることを支援するということだと考えています。

全身性障害者が、地域で24時間介護のもとでも、その人なりの人生を主体的に生きているという姿がシンボリックなイメージとしてあります。

具体的にこの子ではどう考えるかというのは、やりとりのなかで浮かび上がってくることであり、係わりの中でそのように感じ取られたという事実を大事にして、支援していくつもりでいます。

でも、もう少し深く考えてみます。